

特色選抜【入学者選抜における求める生徒像・選抜方法】

学校番号	学校名	課程	学科・コース	募集定員 (特色＋一般)																					
54	浦添商業	全日	企業システム科・ITビジネス科・国際観光科	280																					
求める生徒像・選抜において重視する観点	案 【求める生徒像(アドミッションポリシー)】 ○基礎学力、基本的な生活習慣及び規範意識が身についている生徒。 ○体験したこと、学んだことを自分の考えにまとめ表現できる生徒。 ○集団の中で活動すること(協働学習・学校行事・部活動等)が好きな生徒。 ○商業の専門的な学習や部活動で身に付けたことを活かして大学進学を目指す生徒。 ○商業に関連する分野や部活動において優れた能力や実績を有している生徒。 ○語学を使った学習活動に意欲があり、異文化に対する興味・関心が高い生徒。(国際観光科のみ) 【選抜において重視する観点】 ○基礎学力、基本的な生活習慣及び規範意識が身についている。 ○体験したこと、学んだことを自分の考えにまとめ表現できる。 ○集団の中で活動すること(協働学習・学校行事・部活動等)が好きである。 ○商業の専門的な学習や部活動で身に付けたことを活かして大学進学を目指すことができる。 ○商業に関連する分野や部活動において優れた能力や実績を有している。 ○語学を使った学習活動に意欲があり、異文化に対する高い興味・関心がある。(国際観光科のみ)																								
	募集定員 (特色選抜)	56名 (企業システム科 32名、ITビジネス科 8名、国際観光科 16名)																							
選抜項目・検査方法・配点	【各選抜項目における配点】 <table><tr><td>計</td><td>415</td><td>点</td></tr></table> 1. 学力検査 <table><tr><td>計</td><td>250</td><td>点</td></tr></table> 50点×5(教科)=250点 2. 調査書 <table><tr><td></td><td>165</td><td>点</td></tr></table> ア. 教科の評定 (音楽・美術・保健体育・技術家庭を1.5倍に換算して加算する) 3. 面接 <table><tr><td>ア. 面接方法</td><td>個人面接</td></tr><tr><td>イ. 面接員の構成</td><td>1組2名</td></tr><tr><td>ウ. 所要時間</td><td>1人15分程度</td></tr><tr><td>エ. 面接内容</td><td>①志望理由 ②将来の進路希望 ③高校生活の抱負 ④中学校での活動状況 ⑤その他</td></tr><tr><td>オ. 評価の観点</td><td>応答内容、態度・言葉遣い、服装容疑 等</td></tr><tr><td></td><td>A・B・Cの3段階で評価する。</td></tr></table> 上記1・2を基に、調査書の記載内容と面接等を考慮しながら、求める生徒像に照らして総合的に判断し、選抜する。				計	415	点	計	250	点		165	点	ア. 面接方法	個人面接	イ. 面接員の構成	1組2名	ウ. 所要時間	1人15分程度	エ. 面接内容	①志望理由 ②将来の進路希望 ③高校生活の抱負 ④中学校での活動状況 ⑤その他	オ. 評価の観点	応答内容、態度・言葉遣い、服装容疑 等		A・B・Cの3段階で評価する。
	計	415	点																						
計	250	点																							
	165	点																							
ア. 面接方法	個人面接																								
イ. 面接員の構成	1組2名																								
ウ. 所要時間	1人15分程度																								
エ. 面接内容	①志望理由 ②将来の進路希望 ③高校生活の抱負 ④中学校での活動状況 ⑤その他																								
オ. 評価の観点	応答内容、態度・言葉遣い、服装容疑 等																								
	A・B・Cの3段階で評価する。																								
備考等	出願要件: 次の1及び2を満たしている者とする。ただし出願の際、2については該当する項目を1つ選択する。 1. 内申合計が86以上(3カ年評定平均が3.2 以上)であり、かつ3年次の主要5教科の全ての評定が 3 以上である。 《算出方法》内申合計は、3カ年評定の合計とする。 3カ年評定平均は、内申合計÷27とし、小数第2位を四捨五入する。 2. 次のア～エのいずれかに該当している。 ア. 本校が強化する部活動の種目において、活動実績がある者 (強化種目: 野球部、女子ソフトボール部、男子ハンドボール部) 活動報告書(本校指定様式)の提出が必要となる。なお、入賞等の実績がある場合は、実績を証明する資料(賞状、認定証等)の写し (A4版: 高成績・高評価であるもの)を1件のみ添付してください。 イ. 商業(ビジネス)に関する分野の活動歴(大会出場やコンテストに応募等)がある者 (例: 珠算大会、プログラミングコンテスト、ビジネスコンテスト、アイデアコンテスト 等) 活動報告書(本校指定様式)の提出が必要となる。なお、入賞等の実績がある場合は、実績を証明する資料(賞状、認定証等)の写し (A4版: 高成績・高評価であるもの)を1件のみ添付してください。 ウ. 探究活動(課題解決や地域連携の取り組み等)を積極的に行った経験がある者 (総合的な学習の時間等の授業内容を発展させ、個人で活動に参加したり、班代表としての取り組みを行った者を対象とする。) 活動報告書(本校指定様式)の提出が必要となる。なお、入賞等の実績がある場合は、実績を証明する資料(賞状、認定証等)の写し (A4版: 高成績・高評価であるもの)を1件のみ添付してください。 エ. 次の資格を所有している者 (例: 珠算検定(全国珠算連盟主催等)1級以上、英語検定(日本英語検定協会主催等)3級以上、パソコン関係の検定(日本商工会議所主催等)3級以上) 活動報告書(本校指定様式)と、合格を証明する資料(合格証書、認定証等)の写し(A4版: 高成績・高評価であるもの)1件の提出が必要となる。																								